

# 防災力を高めて いのちを守る

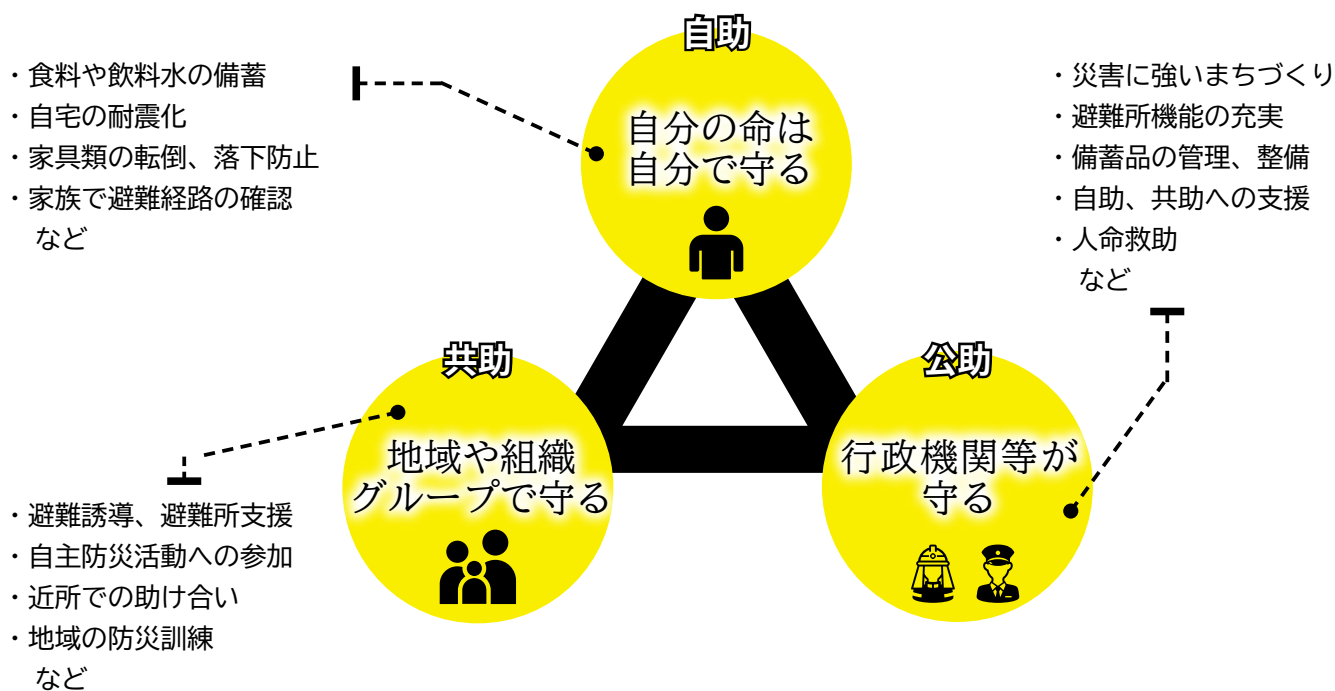
1月1日に発生した令和6年能登半島地震をうけ、自身の防災対策に問題がないか不安を覚えた方も多  
いのではないのでしょうか。

当別町では昨年1月25日から26日にかけて、暴風雪の影響によりJRが運休した上、周辺の国道や道  
道が全て通行止めとなり物流に影響が出たことも記憶に新しく、地震や大雪以外にも災害は多岐にわたり  
ます。

この機会に今一度、防災・減災について考え直してみませんか？

■問合せ 危機対策課危機対策係 (☎ 23 - 2330)

## 「自助」「共助」「公助」の連携で防災力強化



### 「公助」だけでは救えません

平成30年の西日本豪雨をうけ、同年12月に内閣府中央防災会議ワーキンググループの報告書に記載されたメッセージには「**行政は万能ではありません。皆さんの命を行政に委ねないでください**」とあります。過去の災害からわかるように、災害は大きくなると行政機関だけの手には負えなくなってしまいます。

災害による被害を少しでも抑え「公助」を多くの被災者へ円滑に届けるためには「自助」「共助」と連携し、地域全体の防災力を高めることが欠かせません。

災害はわたしたちを待ってはくれません。いざというときに備えて、平時から防災を意識して取り組みましょう。

### 「自分は大丈夫」だと思っていないませんか？

「過去の災害時は大したことなかったから今回も大丈夫」「警報が鳴っているけれど誤作動だろう」など、異常時に心の平静を保つため、今起きていることが正常の範囲内だと思い込んでしまうことを「正常性バイアス」といいます。

過去の災害では、この「正常性バイアス」が原因となり逃げ遅れてしまった人たちが多くいると指摘されています。

避難に限らず、災害への各種備えも同様です。「自分は大丈夫」だという過信は禁物。たとえ避難や準備が空振りに終わったとしても、被害がないのが一番です。

## 非常時の持ち出し品・備蓄品チェックリスト

### 非常食・飲料水

- 非常食（アルファ米や缶詰、乾パン、カップ麺、レトルト食品など）
  - 飲料水（1人当たり1日3ℓが目安）
  - 簡易食器（割り箸、紙コップ、紙皿、ラップなど）
- ※非常食や飲料水は1人当たり最低3日分、できれば7日分を用意しましょう。

### 情報収集用品

- 携帯電話（充電器、モバイルバッテリー）
- 携帯ラジオ（予備電池）
- 防災マップ

### 救急・衛生・感染症対策

- 救急セット（消毒液、ガーゼ、絆創膏、爪切り、体温計など）
  - 衛生・感染症対策用品（マスク、ティッシュ、トイレトーパー、アルコール消毒液、ウェットティッシュなど）
  - 風邪薬や解熱剤などの常備薬、常用薬、お薬手帳
  - 歯ブラシ、液体はみがき、洗顔用品
  - 携帯トイレ、生理用品、紙おむつ
- ※あくまでも一例です。各家庭や個人の状況に応じて用意し、定期的に中身を確認し、ローリングストック（循環備蓄）を実践しましょう。

## 家具類の転倒・落下・移動が負傷の原因となります

タンスや本棚、食器棚などは、L字金具やつっぱり棒、ストッパーなどを使い、転倒・落下・移動を防止しましょう。

食器棚のように扉のあるものは、中身が飛び出さないように扉をロックすることも大切です。



突っ張り棒で転倒防止



開き戸ロックで飛散防止

## 虚偽の情報に注意

能登半島地震では、実在しない住所をSNS上に書き込んで助けを求めたり、過去の災害映像に加工をして今起きているかのように見せかけたりするなど、虚偽の情報が相次いで投稿、拡散されました。

虚偽の情報が溢れると、本当に必要な助けに手が回らなくなってしまいます。また、虚偽の情報を流すことで罪に問われることもあります。

災害時は公的機関の情報を第一に確認する、正しい情報なのか確認するなど、普段以上に情報収集には注意をしてください。



Yahoo! 防災



X (旧 Twitter)



LINE

## 防災マップを確認

防災マップには地震、土砂災害、洪水で被害を受けやすい地域や避難所の場所など、災害発生時に知っておくべき情報が網羅されています。

災害が起きてから避難経路や避難場所を確認しては間に合わない可能性もあります。

「確認しよう」と思っている間に被災をするかもしれません。今すぐ防災マップを確認しましょう。



当別町ホームページからも防災マップをご覧になれます

